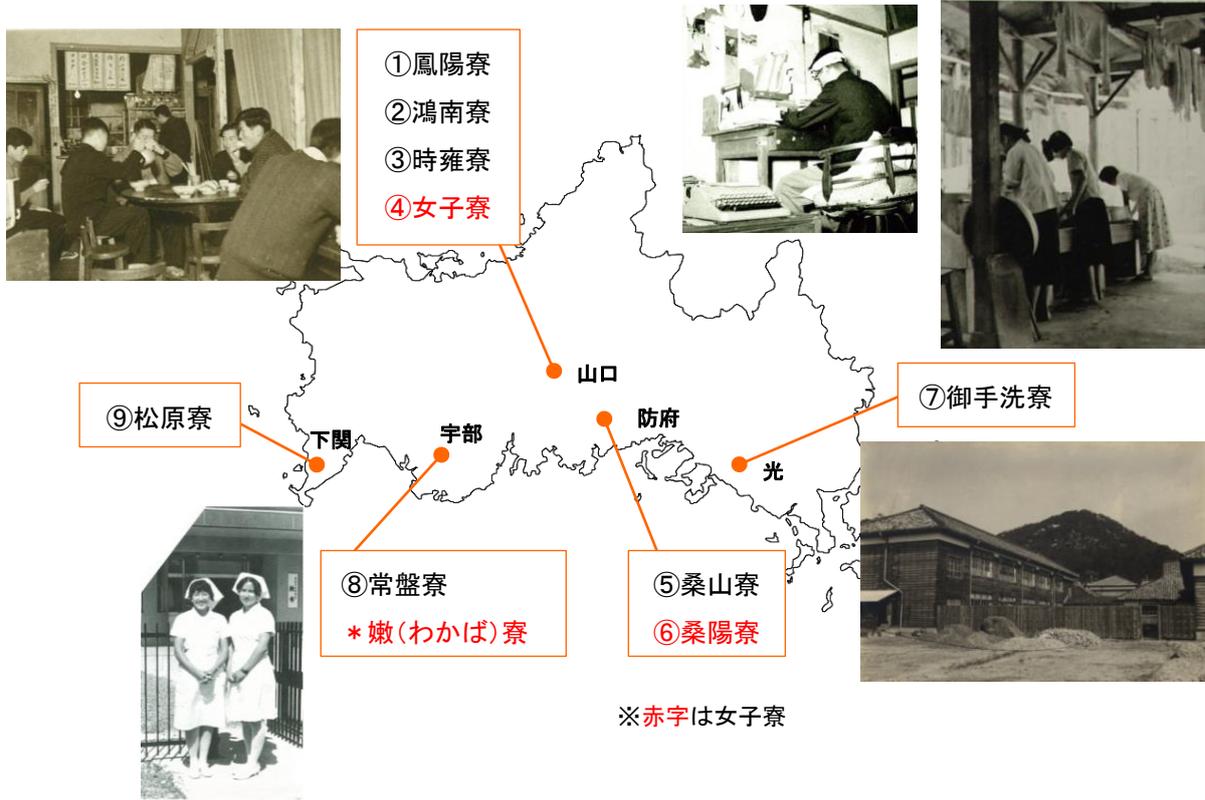


# 学生寮

## 統合移転以前の学生寮

学生寮は学舎とともに学生の生活を支える大切な場所であり、思い出の場所でもあった。開学当時は各地区合わせて9寮(山口地区4、宇部地区1、下関地区1、防府地区2、光地区1)あり、その後、教育学部の光分校と防府分校が山口に統合され、統合移転時には6寮だった。寮には食堂や床屋などがあり、運営は学生部関係者の指導助言のもと、寮生の自治に委ねられていた。



※赤字は女子寮

地区	寮名	対象学生	定員	備考
山口	① 鳳陽寮	経済学部、文理学部文学科の学生	172名	昭和49年に廃止
	② 鴻南寮	文理学部文理学科の学生、 工学部・農学部1年生	120名	昭和42年に廃止
	③ 時雍寮	教育学部の学生	168名	昭和42年に廃止
	④ 女子寮	山口地区の全学部の女子学生	42名	昭和43年に廃止
防府	⑤ 桑山寮	教育学部防府分校の男子学生	60名	昭和35年に廃止
	⑥ 桑陽寮	教育学部防府分校の女子学生	25名	昭和35年に廃止
光	⑦ 御手洗寮	教育学部光分校の学生	男50名、女100名	昭和32年に廃止
宇部	⑧ 常盤寮	工学部2年生以上の学生、 工業短期大学の学生	150名	
	* 嫩寮	看護学校の学生	150名	昭和57年に廃止
下関	⑨ 松原寮	農学部2年生以上の学生	30名	昭和41年に廃止

「山口大学学生便覧(昭和31年)」による

## 現在の学生寮

吉田地区への統合移転に伴い、山口地区の寮は段階的に統合・廃止された。現在、吉田地区には、吉田寮、榎野寮の2つが、宇部地区には、常盤寮、常盤女子寮がある。

### 吉田寮(男子寮)

定員:1号棟と2号棟あわせて306人

対象学生:吉田地区の学部生及び大学院生

吉田寮(1号棟)は昭和42(1967)年に設置された。開設時に吉田地区への統合移転を完了していたのは、農学部と教養部だけだったが、96%という高い入寮率だった。当初は2人部屋(150室)だったが、平成23年に单身用ワンルームマンション型の2号棟(130室)が完成。学生の交流の場として各階に談話室が設けられているほか、生活空間としての快適性を考え、各部屋にはトイレ、バス、空調設備、机、ベッドが設置された。翌年には、老朽化及び耐震対策に伴い1号棟が改修され、2号棟同様、ワンルームマンション型(176室)となった。



改修後の吉田寮1号棟



平成2年頃



現在



### 比べてみよう！-吉田寮の部屋の様子-

かつては2人部屋だったが、現在は1人部屋に。また、改修を機に食堂は無くなったが、友達同士でたこ焼きパーティなどを楽しんでいる。



### 榎野寮(女子寮)

定員:2号棟 69人

対象学生:吉田地区の学部生及び大学院生

榎野寮(1号棟)は昭和42年に62名分だけが建設され、教養部の女子1年生が入寮した。翌年には残り94名分の居室が完成し、156名収容可能となった。平成26年にバス・トイレ付のワンルーム型の2号棟が新築され、今後は1号棟の改修工事が予定されている。



榎野寮2号棟竣工記念式

常盤寮(男子寮)

定員:A棟96人 B棟48人

対象学生:医・工学部生及び常盤地区の大学院生

常盤寮は宇部の工学部のキャンパス内にある。宇部工業専門学校時代の昭和16年に建設された木造の寮は、台風等の被害もあって老朽化したため、昭和51年、新寮(常盤寮A棟・B棟)が建設された。当時としてはめずらしく個室タイプであった。A棟は今後改修工事が予定されている。



常盤寮 B 棟

常盤女子寮(女子寮)

定員:64人

対象学生:医・工学部生及び常盤地区の大学院生

常盤女子寮は、工学部で学ぶ女子学生の増加に対応し、平成21年に設置された。女子学生に安心して学んでもらう環境の整備ということもあり、施設はセキュリティーに配慮してオートロックを採用、監視カメラも設置された。



常盤女子寮

山口大学新聞 1991年9月21日(土)

# 下宿めぐり

## No.3

### 奇聞店観

### ほろふき男爵

### リトルテラス

### 松のおすすめ♡

### しーそー巻き巻きレタス肉

### CAN 料理

「山口一の雄住」吉田地区の不夜城「なごみまき」は、まさに「吉田寮」の代名詞。たまたまその実体は？

学内北方に位置し、鉄筋コンクリート5階建て、一号室から一五〇号室まで基本的に二入部屋で、入学時の新入生の人数次第で一人部し屋の申請もできる。机、ベッド、本棚などは備えていて、布団まで持ってくるのは別生活可能である。諸経費は六千五百円、食費を全部買ったとしても一万円といったところ。

寮は朝食用、風呂、食卓、トイレ、校舎の安全もろろん寮生も可。

（但し別料金）。特に昼食は「カレー」などメニューによっては行列ができることもある。ただ、たまたまは早急な申請が早急なのが特徴。寮入口の二の黒板には、どこから寄せ集められているのかアルバイト情報が入り、おもしろい。寮生で探している人も多く、厚生課と並ぶバイト幹事の中心である。

また学内一の黒板にある吉田寮上からの眺めは、まさに絶景。この屋上からの素晴らしい眺めを寮生たちだけが楽しむことができる。特に女性の方には、毎年夏には屋上ビアガーデンが催されている。今年も残念ながら雨。

天のため中止だった。九月、一月の学期末にはさまざまなテスト情報も飛びかうのも寮生の特権。ただ、寮生曰く「情報収集能力はあっても管理能力がない」。

面談不足が問題とされる山本地区内で、一年中夜でも明かりが消えることのない吉田寮周辺は、治安がよい苦なのになぜかこの不夜城に近づく女子学生はますます、ない。寮生言えは「シングルにどてら、学内でも平気でうろつくと言いつてもいいが、セクハラではいけない」とある寮生（匿名・怪しい）。

隣どとに東西で寮生の班が分かれていて電話、風呂などは当番制になっている。生徒会団体ということでは寮内での団結は弱く、また、実行委員会を組織して行う七夕祭を盛大に行っている。寮の運営は立派。または、推薦によって選ばれた総務部員によって行われており、全国でもあまり例をみない学生自治寮という体制と。

（匿名）

「寮生」のよっちゃん、ん、という呼び名がついてるほどだ。

ルームも満足で、これはまさに「ペンション」の名にふさわしい。それでいて、掃除は出前してくれ、おまけで、出前金は一品で数品でも一律一〇〇円。これからは

整理整頓された室内にはビックリ!

吉田寮の様子を伝える「山口大学新聞」(平成3年9月21日)